



発達保障をめざす 保育実践・療育実践交流集会

2月15日(日) 10:30~15:30

zoomミーティングによる
オンライン集会

「いまこそ、実践でつながろう」を合言葉に保育園や幼稚園、こども園などの通常の施設と、専門施設といわれる児童発達支援や放課後等デイサービスなどの場の違いをこえて、障害がある子どもや発達が気になる子どもへの実践、子育て支援の実践などを交流する学習会です。午前は地域に共通する子育てや保育・療育の課題、午後は実践報告を聞いて参加者みんなで討論します。

午前の部 10:30~12:00

講演 どこに生まれても子どもが輝く療育を 鹿児島のあゆみといま

山口雅子さん むぎのめ子ども発達支援センターりんく
ほか鹿児島県発達支援通園事業連絡協議会のみなさん

1980年代、鹿児島県内には障害のある乳幼児をもつ親は相談するところも通う場もなく孤独な子育てを強いられていきました。「どこに生まれても安心して子育てができる地域を」と声を上げ、手をつなぎあってきた親と実践者たちの運動によって、いま自治体に療育の場ができ実践が発展しています。乳児期からの悩みにこたえるにはさまざまな課題があり、母子保健や子育て支援とのつながりをつくることなど、簡単ではありません。「療育は権利」を合い言葉に実践と運動が続いている鹿児島のあゆみから学びあいたいと思います。

午後の部 13:00~15:30 ふたつの報告を聞いて参加者みんなで討論しましょう

実践報告1 保育園の実践

一人ひとり違うからこそおもしろい！

安心感と楽しさを土台に育ちあつた保育園での4年間

埼玉・所沢市公立保育園 菅野恵子さん

実践報告2 児童発達支援事業所での実践

気持ちが伝わることの心地よさ

並行通園で安心の世界を広げていった保育園児ゆうちゃん

京都・児童発達支援事業所パーチェ 橋本桃世さん

【参加方法】

定員300名

申し込みは 2月8日(日)まで

- 下記QRコードもしくはURLにアクセス、必要事項を記入してください。折り返し届く受付完了のメールで参加費の送金先をご案内します。
- 参加費2,000円(1人あたり)を指定の口座に送金してください。2月10日以降に参加のためのURLと資料を送ります。



<https://form.run/@jissen2026>

主催 NPO法人発達保障研究センター 協賛 全国障害者問題研究会

連絡先 〒162-0801 新宿区山吹町4-7 新宿山吹町ビル 全障研内

問い合わせ npocenter@nginet.or.jp

電話 080-4332-2601 (平日9時~17時)